



平成三十一年。太陽は雲に隠れ少々遅れての「初日の出」となった平成最後の一月一日。その後は穏やかな天気に恵まれ、美山ホームでは毎年、この元旦に行われる新年祝賀会が賑やかにおこなわれました。

養護、特養A棟、B棟の入居者様、職員が一堂に会し、始めて施設長の挨拶から始まり、阿部睦会会長、阿部厚三会長も多忙の中足を運んで下さり、皆様に挨拶をされました。詩吟クラブの詩吟を披露された後、干支職員による乾杯の音頭で会食が始まり、入居者の方々はお節料理に箸が止まらない様子がいたるところで見られました。夢中になって食べて頂けるのは嬉しい事ですが、喉を詰まらせたりはしないかと心配、緊張の時間でもありました。無事に食事を終え、満足そうな笑顔が会場中に溢れた中で次は、干支職員、新任職員がステージに上り、各々挨拶、抱負等を話し皆でカラオケを披露。利用者様の手拍子に合わせ、リハーサル無しの歌唱。無事に歌いきる事ができました。このままでは体裁が保てない……との事で急遽、施設長、副施設長に無理をお願いし、一曲ずつ披露して頂く事に。会場は大きな手拍子、歌声が聞かれ大いに盛り上がる事ができました。

時間にするとおよそ二時間の会でしたが、あつ、という間の楽しい、皆様の笑顔が多く見られた、新しい年の始まり、新年祝賀会でした。